

東環協ニュース

発行●東京都環境計量協議会

〒110-0016 東京都台東区台東 1 - 14 - 11
ヒロキビル ヒロエンジニアリング(株)内
TEL (03) 5812-4111
FAX (03) 3833-6674
MAIL toukankyo@car.ocn.ne.jp
URL <http://www.toukankyo.org>

★ 佐藤会長挨拶

- ・コロナ禍におきまして

★ 第 43 回通常総会報告

- ・2020 年度第 43 回通常総会報告並びに決議のご通知
- ・総会資料

★ 今年度の事業活動について

★ 新役員の挨拶

★ 役員の役割分担

★ 災害時における石綿モニタリング調査

★ 関係機関・団体の動き

- ・首都圏環境計量協議会連絡会
- ・(一社)神奈川県環境計量協議会
- ・(一社)埼玉県環境計量協議会
- ・千葉県環境計量協会
- ・(一社)日本環境測定分析協会

★ 東環協からのお知らせ

- ・2020 年度これからの主要行事予定
- ・事務局からのお知らせ

佐藤会長の挨拶

コロナ禍におきまして

東京都環境計量協議会
会 長 佐藤 隆

はじめに、令和2年7月豪雨による被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。
また、犠牲になられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、ご遺族の皆様に謹んでお悔やみ申し上げます。一刻も早い被災地の復旧をお祈り申し上げます。

さて、政府による緊急事態宣言は5月25日に解除されましたが、それ以後も東京をはじめとする大都市部を中心に新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、会員企業の皆様に於かれましては日々の生活や業務において大きく支障が出ている事と存じます。当協議会におきましても、ご存知の通り、5月の通常総会は正会員企業の皆様に対しまして、初めて議決権行使書による決議をお願いいたしました。お蔭様で、皆様のご協力により全ての審議事項が承認可決されました。誠に有難うございます。総会以降の事業活動は、例年であれば新任者教育セミナーや親睦会等、各種事業活動が続くところですが、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大により活動が滞っている状態であります。そこで、これも初めての試みとなりましたが去る7月29日に第2回役員会をリモート方式（WEB会議）で開催し、各事業活動の方向性を協議いたしました。今回お届けします東環協ニュース第174号の内容は、終了行事となりました総会報告以外は例年とは異なり、各事業活動の今後の方向性について執行部の考えを報告させて頂きますとともに、昨年より進めております東京都との災害防止協定の一環である「災害時における石綿モニタリング調査」に関する進捗報告と賛同頂いた会員様等をご紹介しますと共に、新役員のご紹介、関係機関の今後の動きなど掲載させて頂きます。何卒、ご一読頂ければ幸いです。

一日も早いコロナ禍の終息を祈念いたしております。

第 43 回通常総会報告

第 43 回通常総会は、新型コロナウイルス感染予防のため、書面による議決権行使方式での開催とし、2020 年 5 月 29 日 15 : 00 よりアルカディア市ヶ谷 7 階「妙高」にて全役員出席の下、議決権行使書（委任状を含む）の集計作業を行い、全ての議案が原案どおり承認可決されたことを確認しました。詳細は、「2020 年度第 43 回通常総会（書面による）報告並びに決議のご通知」及び「総会資料」をご覧ください。

なお、総会資料の第 3 号議案において、技術研修会及び新春賀詞交歓会の開催予定が 2020 年 1 月と記載されておりましたが、2021 年 1 月の誤りです。訂正申し上げるとともに謹んでお詫びいたします。

2020 年度第 43 回通常総会（書面による）報告並びに決議のご通知

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言が発令されたため、紙面による総会とさせていただきます。

以下に結果をお知らせいたしますのでご確認ください。

議決権行使書（又は委任状）締切日：2020 年 5 月 15 日（金）

議 決 権 行 使 者 数：44 社（委任状 16 社を含む）

議決権行使書等の確認・集計：東環協事務局

正会員総数 62 社中 44 社から議決権の行使書（委任状を含む）の提出があり、会則第 19 条により総会が成立することを確認いたしました。

審議事項について

- ① 第 1 号議案：2019 年度 事業報告承認の件
- ② 第 2 号議案：2019 年度 収支決算報告承認の件
監査報告
- ③ 第 3 号議案：2020 年度 事業計画（案）審議の件
- ④ 第 4 号議案：2020 年度 収支予算（案）審議の件
- ⑤ 第 5 号議案：役員（案）承認の件

以上についてご審議いただき、28 社から議決権行使書を、16 社から委任状の提出をいただき、議決権行使書では全社ともすべての議案に賛成、委任状では全社から議長に委任をいただきました。これにより、各議案とも原案どおり承認可決されましたことをここにご報告いたします。

なお、第 5 号議案の役員をご承認いただきましたことを受け、本年度は別紙のとおり
の役員体制にて運営をおこなってまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

以上

2 0 2 0 年 度

第 4 3 回
総 会 資 料

東 京 都 環 境 計 量 協 議 会

議

案

第 1 号 議 案 2 0 1 9 年度 事業報告承認の件

第 2 号 議 案 2 0 1 9 年度 収支決算報告承認の件

監査結果報告

第 3 号 議 案 2 0 2 0 年度 事業計画（案）審議の件

第 4 号 議 案 2 0 2 0 年度 収支予算（案）審議の件

第 5 号 議 案 役員（案）承認の件

はじめに

新緑の候、時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。平素より当協議会の事業活動につきまして、ご理解、ご協力頂きまして厚く御礼申し上げます。

さて、昨年 12 月末から中国湖北省武漢市で発生したと思われる新型コロナウイルス(COVID-19)は、現在も全世界で急速に感染拡大しており、WHO がパンデミックを宣言するなど 3 月末現在での国内感染者数は 2,178 名、死亡者数 57 名(厚生労働省調べ)と、激しく猛威を振るっている状況です。過去の新型インフルエンザやペスト、マラリア、結核といった伝染病被害は死者数が 100 万人規模と大きかったものの、ある程度地域が限定されていましたが、今回の新型コロナウイルスは全世界に拡散している点では最も恐ろしい感染力といっても過言ではありません。それに伴い、TOKYO2020 オリンピック・パラリンピックが 1 年ほど延期される他、経済界においては、2008 年 9 月 15 日にリーマン・ブラザーズ・HD が負債総額約 64 兆円で破綻して生じたリーマン・ショックのときよりも大きな危機に陥っているところです。一日も早い終息を心より祈念致しております。

一方、当協議会の新たな活動のご紹介ですが、昨年来より東京都環境局と協議して参りました「災害時における石綿のモニタリング調査」に関する災害支援協定について、いよいよ正式に締結する運びとなりました。つきましては、認定機関のネットワークを構築する必要があり、これについては皆様には近日中にご案内状をお届けします。是非、1 社でも多くの会員にご登録頂くことで、災害時における東京都の復興を支援できればと思っておりますので、ご協力の程、よろしくお願い致します。

最後に、この度の新型コロナウイルスの影響により、第 43 回通常総会は開催せず、初めての試みとなりますが、全正会員による書面での承認決議を採らせて頂く形としましたので、ご協力の程、お願い申し上げます。

2019年度事業報告

2020年3月31日現在の会員数及び役員は次の通りです。

(会員数)

正会員 62社(入会1社、退会3社)

賛助会員 22社(入会3社、退会2社)

合 計 84社

(役員)

会長1名、副会長2名、理事8名、監事2名

1. 会議の開催

(1) 総会

2019年度(第42回)通常総会

日 時 : 2019年5月8日(水) 16:30~17:20

場 所 : アルカディア市ヶ谷「大雪(東)」

出席者 : 正会員52社(うち委任状24社)、賛助会員2社

(2) 理事会

協議会運営のため、全役員による理事会を開催しました。

理事会 : 5回開催

(2019年5月8日、7月10日、10月11日、12月10日、2020年3月26日)

(3) 委員会会議

技術、業務、広報の3委員会について、担当理事及び委員による会議を必要に応じて開催しました。

2. 事業活動

当協議会の目的を達成するため、セミナー、発表会、研修会などの各種事業を企画、開催しました。

(1) 新任者教育セミナー

第12回 新任者教育セミナーを(一社)日本環境測定分析協会 関東支部と共同開催しました。なお、今年度も一都三県の合同実施となり、ほぼ満席の74名と多くの方々にご参加いただきました。

日 時：2019年6月19日(水) 10:00～17:30

場 所：(一社)日本環境測定分析協会 2F 研修室

参加者：74名

東環協：18名、千環協：18名、埼環協：18名、神環協：20名

講義1 (10:45～12:00)

(テーマ) 労働安全衛生について

(講 師) セフティレビュー 大山 喜彦 氏

(概 要) 労働災害の発生状況は労働安全衛生法が制定されてから年々減少していること、労働災害防止には災害の発生原因を調査し、人のミス、装置等の故障が起きても災害にならない安全管理(フールセーフ、フェールセーフ)を構築する必要があることなど、労働安全衛生全般に亘る詳しい説明がありました。

講義2 (13:00～14:30)

(テーマ) 環境計量の仕事とは

(講 師) 小池技術士事務所 所長 小池 満 氏

(概 要) 環境学の領域について幅広い知識と専門性を身につけることが大切で、業務を実施する上で環境考古学の知識も必要になったとの紹介がありました。また、サンプリング担当者、分析担当者に分かれている場合、現場の状況やその変化について分析担当者とサンプリング担当者との密な情報共有が大切であるとのお話がありました。

講義 3 (14:45～16:15)

(テーマ) 精度良い測定のために

(講師) 村井技術士事務所 所長 村井 幸男 氏

(概要) 環境測定においてはサンプリングが重要でありサンプリングに誤差があつては正しい測定結果は得られないこと、目的に合った分析方法の選択と共に精度管理が重要であること、その他、数値の丸め方、分析誤差、分析値の不確かさ、相関係数、回帰曲線についても説明がありました。

修了証授与式・名刺交換会 (16:15～17:30)

講義終了後、東環協、千環協、埼環協、神環協にそれぞれ分かれて、修了証の授与式が行われました。名刺交換会では、参加者同士が互いに活発なディスカッションを行いました。

(2) 環境測定技術事例発表会

第 31 回環境測定技術事例発表会では、東環協から 7 題、東環協の友好団体である大環協より 1 題、特別発表として兵環協から 1 題、計 9 題の発表がありました。また、東京都計量検定所 検査課の後藤課長代理に特別講演をしていただきました。

日 時：2019 年 11 月 18 日 (月) 10:00～17:15

場 所：アルカディア市ヶ谷「霧島」

参加者：会員 27 社 59 名、協賛企業 9 社 (発表者・来賓を含め総数 92 名)

特別講演

(テーマ) 計量証明検査及び立入検査について

(講師) 東京都計量検定所

検査課 課長代理 後藤 真英 氏

(概要) 計量証明検査と立入検査について法律をなぞる形でご紹介いただきました。

計量証明検査については、前年度は申請が 225 台、合格が 224 台、不合格が 1 台 (精密騒音計) であったこと、不合格率は 0.4% と低い値ではあるが、いつから不適合の状態であったかを考えると望ましい

ことではなく、不合格は0%になるよう各事業者において管理するようお話がありました。

立入検査については、毎年約 50 事業者に立入検査を実施しており、1 事業者あたり約 3 年に 1 回実施しているが、過去に改善指導を受けている事業者には 1～2 年後に優先的に立入検査を行うようにしているとの説明がありました。昨年度の立入検査数は 46 事業者 76 区分、改善指示は 20 事業者に発したとのこと。

事例発表 ①

(テーマ) BODとCODの相関に関する一考察

(発表者) 株式会社オオスミ 日野 愛実

事例発表 ②

(テーマ) 総PCB分析のための金属修飾アルミナを用いた簡易・迅速精製法

(発表者) 三浦工業株式会社 山本 一樹

事例発表 ③

(テーマ) 生物化学的酸素要求量(BOD)から見た排水処理の課題解析事例

(発表者) 一般財団法人東海技術センター 原 健二

事例発表 ④

(テーマ) レアメタルを含む廃棄物の測定事例

(発表者) 株式会社分析センター 伊東 大貴

事例発表 ⑤ <大環協・交流発表>

(テーマ) 海水中栄養塩類のナノモルレベル微量測定

(発表者) 株式会社環境総合テクノス 山口 帆南

事例発表 ⑥ <兵環協・交流発表>

(テーマ) 見えない「地下」を知る ～土壌性質からのアプローチ～

(発表者) スミカワ研究所有限会社 福本 章子

事例発表 ⑦

(テーマ) 沖縄県辺戸岬における大気中形態別水銀濃度観測事例の紹介

(発表者) いであ株式会社 渡辺 恵史

事例発表 ⑧

(テーマ) ドローンを活用した気象調査の検証

(発表者) ムラタ計測器サービス株式会社 池上 匡

事例発表 ⑨

(テーマ) I o Tを活用した室内空気環境モニタリングシステムの検討

(発表者) 環境リサーチ株式会社 青山 浩之

(3) 技術研修会

本年度の技術研修会は、昨年度と同様に新年の賀詞交歓会と同日の開催としました。国立研究開発法人産業技術総合研究所 主任研究員 小野 恭子様をお招きして「基準値を通して考える身近なリスクとの向き合い方」というテーマでご講演いただきました。

日 時：2020 年 1 月 17 日（金）15：30～16：40

場 所：アルカディア市ヶ谷「大雪(東)」

参加者：会員 26 社 49 名、協賛企業 3 社 6 名、来賓 2 名

(テーマ) 基準値を通して考える身近なリスクとの向き合い方

(講 師) 国立研究開発法人産業技術総合研究所

安全科学研究部門 主任研究員 小野 恭子 氏

(概 要) 本講演では「食品の賞味期限」、「農薬や食品添加物の基準値の決まり方」、「食のリスクはどうあるべき？」という内容でご講演いただきました。

「食品の賞味期限」では、賞味期限と消費期限の違い、期限の設定方法、食品ロス問題などについて知ることができました。また、「農薬や食品添加物の基準値の決まり方」では、基準値を超えるイコール危険という訳ではないこと、食品の基準値を決めるプロセスは多くの仮定のカタマリであるといったことを学びました。最後の「食のリスク管理はどうあるべき？」では、リスクが高くとも受け入れられてきた背景（食文化）を知り、今後どうすべきか、どうしたいか議論が必要だということが分かりました。

(4) 新春賀詞交歓会

新春賀詞交歓会を、以下の通り開催しました。

日 時：2020 年 1 月 17 日（金）17：00～19：30

場 所：アルカディア市ヶ谷「鳳凰」

参加者：会員 30 社・68 名、協賛企業 5 社 9 名、来賓 4 名

はじめに佐藤会長より新年挨拶、続いて、ご来賓である東京都環境局 筧環境改善部長、東京都生活文化局計量検定所 齊藤検査課長、(一社)日本環境測定分析協会 松村会長よりそれぞれご挨拶を頂戴致しました。

その後、(一社)日本環境測定分析協会 津上関東支部長による乾杯のご発声により新春賀詞交歓会の開会となりました。新会員、協賛企業の紹介や、恒例のビンゴ大会で盛大に盛り上がったところで、池田監事による「三本締め」によりお開きとなりました。

(5) 東環協ニュース

東環協ニュースを 2 回発行しました。

第 171 号：2019 年 7 月 31 日

第 172 号：2019 年 12 月 27 日

(6) 会員名簿

2019 年 8 月に会員名簿を発行、会員及び都内自治体に配布しました。

(7) 東環協メール情報サービス

電子メールによる情報提供を 16 件 (No.305～No.320) 実施しました。

(8) 研修見学会

本年度も首都圏環境計量協議会連絡会の研修見学会として、首都圏 4 県単である(一社)埼玉県環境計量協議会、千葉県環境計量協会、(一社)神奈川県環境計量協議会及び東京都環境計量協議会での合同開催となりました。

今回は、千葉県環境計量協会の主催で「千葉県立現代産業科学館」、「サッポロビール千葉工場」、「谷津干潟自然観察センター」を下記のタイムスケジュールで見学し、最後に屋内研修で参加者の交流を深めました。

開催日：2019年9月13日（金）

場 所：「千葉県立現代産業科学館」、「サッポロビール千葉工場」、「谷津干
潟自然観察センター」

参加者：38名（うち、東環協会員7社・13名）

（9）首都圏環協連関連

各県単の活動状況を報告し合い、当業界を取り巻く諸問題について意見交換を行いました。

① 首都圏環協連委員会：3回開催

（2019年6月4日、8月22日、12月18日）

② 2019年度 環境計量証明事業団体合同研修会

2020年2月17日（月）（於 ホテル横浜ガーデン）

第1部 「自治体との協定事例と実施状況について」

- ・自治体との協定とその課題について
- ・締結事例についての報告
- ・優良事例と課題についての意見交換

第2部 「県単相互応援協定について」

- ・県単相互応援協定の意義と役割について
- ・県単相互応援協定の課題と今後の展望に向けた意見交換

第3部 「適正価格について」

- ・最低制限価格制度の動向について
- ・意見交換

（10）技術交流関係

今年度も、大阪環境測定分析事業者協会が主催する「環境測定技術事例発表会」に参加し、当協議会より1題を発表、技術交流を深めました。

開催日：2019年9月20日（金）

（テーマ）異臭調査事例紹介

（発表者）株式会社分析センター 鈴木 章浩

(11) 東京都計量検定所関連

計量記念日に開催された「都民計量のひろば」で、当協議会も「環境と計量コーナー」への展示協力を致しました。

テーマ：くらしと計量ー正しい計量で世界と未来を支えよう!ー

開催日：2019 年 11 月 1 日（金）

場 所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：都民計量のひろば実行委員会〔構成団体 東京都計量検定所、
（一社）東京都計量協会、東京都環境計量協議会等、18 団体〕

当協議会が担当した「環境と計量コーナー」では、環境に関する年表やパネルによる隅田川水質改善、四大公害病、PM2.5、騒音の目安などの紹介とパワーポイントのスライドショーにてマイクロプラスチックの環境影響について紹介しました。また、来場者にはそれらの展示を題材にした環境クイズに参加していただきました。環境クイズに参加された方は 300 名強、クイズ終了後、全員に参加賞をお渡ししました。

(12) 親睦ゴルフ大会

① 2019 年度 第 1 回親睦ゴルフ大会（通算第 38 回）

開催日：2019 年 6 月 28 日（金）

場 所：セゴビアゴルフクラブ イン チョダ

参加者：9 名

② 2019 年度 第 2 回親睦ゴルフ大会（通算第 39 回） * 首都圏合同開催

開催日：2019 年 12 月 5 日（木）

場 所：ニュー南総ゴルフクラブ

参加者：20 名（うち東環協会員 8 名）

(13) ホームページ

ホームページでは、各種行事のご案内や東環協ニュースを掲載しています。また、環境省、経済産業省を始め、関係省庁等の情報を取りまとめ、毎月 1 回の更新を実施しました。

以 上

[第 2 号議案]

⁷ ⁷ 本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします



2020年度 事業計画（案）

1. 会議の開催

- (1) 総 会 新型コロナウイルス感染症対策として、書面による開催といたします。
- (2) 理事会 6回程度（予定）

2. 事業活動

(1) 技術関係

- | | |
|---------------|-------------------|
| ① 新任者教育セミナー | 未定 ※ 中止とする場合があります |
| ② 研修見学会 | 10月（予定） |
| ③ 環境測定技術事例発表会 | 11月（予定） |
| ④ 技術研修会 | 2020年1月（予定） |

(2) 業務関係

- | | |
|-------------------|--------------|
| ① 会員名簿の発行 | 8月（予定） |
| ② 新春賀詞交歓会 | 2020年1月（予定） |
| ③ 首都圏その他の連絡会議への参加 | 随時参加 |
| ④ その他（各種親睦会等） | |
| ・ ゴルフ大会 | 6月、9月の2回（予定） |
| ・ その他 | |

(3) 広報関係

- | | |
|-------------------|-----------|
| ① ニュースの発行 | 年4回(予定) |
| ② ホームページの更新 | 原則、月1回 |
| ③ 都民計量のひろば行事 | 11月1日(予定) |
| ④ 各種資料の配付、メールサービス | 随時実施 |

(4) 官公庁その他に対する協力

- ① 東京都計量検定所が行う講習会への協力
- ② 東京都環境局が行う講習会への協力
- ③ (一社)日本環境測定分析協会が行う行事への協力
- ④ その他

以 上

[第 4 号議案]

本議案については、当協議会のネット規定上、公開しないこととします

第5号議案 役員承認の件（案）

東京都環境計量協議会役員立候補者名簿

任期：2020年5月総会後～2022年5月総会まで

	立候補者	会社名
1	五十嵐 鋼	(株)東京環境測定センター
2	池田 達也	(株)日本分析
3	石山 直樹	シグマジオテック(株)
4	川東 光三	(株)トーニチコンサルタント
5	木村 直樹	(一財)東海技術センター
6	近野 良哉	いであ(株)
7	佐 藤 隆	(株)分析センター
8	志知 尚彦	帝人エコ・サイエンス(株)
9	田口 和男	(株)オオスミ
10	竹田 良平	ヒロエンジニアリング(株)
11	中 村 勉	(株)環境技術研究所
12	平賀 積善	(株)環境管理センター
13	福 浦 勝	環境リサーチ(株)

※ 50 音順

東環協選挙管理委員会

東京都環境計量協議会 第43回通常総会 議決権行使会員名簿

No.	会社名	No.	会社名
1	いであ(株)	23	成友興業(株)
2	(株)伊藤公害調査研究所	24	(株)総合環境分析
3	(株)エオネックス	25	(株)総合水研究所
4	エヌエス環境(株)	26	ダイヤアクアソリューションズ(株)
5	(株)オオスミ	27	帝人エコ・サイエンス(株)
6	(株)化学分析コンサルタント	28	(一財)東海技術センター
7	(株)環境管理センター	29	(株)東京環境測定センター
8	(株)環境技研(杉並区)	30	(株)東京建設コンサルタント
9	(株)環境技研(板橋区)	31	東京都鍍金工業組合
10	(株)環境技術研究所	32	(株)トーニチコンサルタント
11	(株)環境技術センター	33	(株)日新環境調査センター
12	(株)環境総合テクノス	34	日本エコテック(株)
13	(株)環境総合リサーチ	35	(株)日本公害管理センター
14	環境リサーチ(株)	36	(株)日本シーシーエル
15	共和化工(株)	37	日本滌化化学(株)
16	クボタ化水(株)	38	(株)日本総合科学
17	(一財)小林理学研究所	39	(株)日本分析
18	(株)サンコー環境調査センター	40	ヒロエンジニアリング(株)
19	シグマジオテック(株)	41	(株)分析センター
20	(株)島津テクノリサーチ	42	ムラタ計測器サービス(株)
21	(株)四門	43	八千代エンジニアリング(株)
22	新日本環境調査(株)	44	ユーロフィン日本環境(株)

合計 44 社

今年度の事業活動について

今年度の通常総会は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により議決権行使方式による書面決議とさせて頂きました。そして、それ以降の事業活動につきましては、当初6月初旬に開催予定であった第2回役員会を以って検討する予定でございました。しかしながら、東京の感染拡大が止まらない状況から役員会6月開催を延期し、その後苦肉の策として7月29日に初のWEB会議による第2回役員会を開催して、今後の事業活動について検討させて頂きました。その結果、各事業活動について下記の通り、事業毎に中止・延期・開催方法の検討などを決議しましたので、現状における各事業の方向性についてご報告させて頂きます。

○ 新任者教育セミナーについて

例年は首都圏環境計量協議会連絡会（1都3県）の合同で開催するところ、今年度については合同での開催は中止させて頂く事としました。そのため、東環協単独による開催につきましては、コロナ禍の状況を鑑みながら秋季（10月～11月）に終息の兆しが望めれば2021年2月～3月頃に通常の1日セミナーを開催する予定でおります。一方、秋季においてもコロナ禍が終息しない場合は、科目毎で3日間程度に分けてのWEBセミナーを同時期に開催する事も検討していきたいと考えております。第3回役員会で詳細が決定しましたら再度ご報告させて頂きます。

○ 親睦ゴルフ大会について

今年度につきましては、春季の東環協主催、秋季の首都圏合同開催の双方につきまして、中止させて頂きます。

○ 大環協主催による共同実験について

毎年、大環協では水質分析を中心に共同実験（ラウンドロビンテスト）を開催しており、今年度も下記要領で開催予定との事です。そこで、今回も大環協会員価格と一般価格の差額分は、東環協で負担させて頂きますので、是非、会員の皆様も精度管理維持の観点から毎年同様にご参画の程、お願い申し上げます。正式な案内状が事務局に届き次第ご案内申し上げます。

- ① 実験名称：排水中の窒素の分析精度把握
- ② 分析項目：全窒素・硝酸体窒素・亜硝酸体窒素・アンモニア体窒素
- ③ 受付開始：8月～9月頃
- ④ 試料配布：10月頃
- ⑤ 報告書発行：1月頃

○ 環境測定技術事例発表会について

本事業は、当協議会の事業活動の中で最も大きなイベントであります。コロナ禍の影響により誠に残念ですが、今年度は中止させていただきます。なお、日環協の環境セミナー全国大会in広島は来年に延期、大環協の事例発表会も今年度は中止との発表がありました事、併せてご報告申し上げます。是非、来年度の開催に向けまして、各会員様においては社内的に分析方法の改良・開発、効率化の検討、精度管理向上のシステム開発、調査研究等に研鑽頂き、2021年度の事例発表会が盛況になります事を祈念しております。

○ 都民計量のひろばについて

今年度は、11月1日から1か月間に渡って、東京都計量検定所のホームページ内に特設ページを設け、WEB版2020「都民計量のひろば」を開催することとなりました。当協議会でも、例年通り「環境と計量コーナー」として、環境計量証明事業に関する話題を提供する様に準備を進めて参ります。

○ 事業活動に関するアンケート実施について

新年1月17日に開催させて頂きました賀詞交歓会における会長挨拶の中で述べさせて頂きましたが、環境計量証明事業の歴史も40年余りを経過しており、業界が求められるニーズも変化しております。また、今年度はコロナ禍において人々の生活も変化しております。そこで、当協議会としまして新たに取り組むべき事業活動等に関して、会員皆様のお声を頂戴したく「事業活動アンケート」の実施を考えております。現在、執行部におきまして、その準備をしているところで、今年度中に実施したいと考えておりますので、アンケート用紙が届きましたら、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

災害時における石綿モニタリング調査

「災害時における石綿モニタリング調査機関ネットワーク」の動向

東環協 技術委員長 五十嵐 鋼

近年、災害時における復旧事業として、各種モニタリング、化学物質や放射性物質等の調査分析に関する支援協定が各自治体（県・市など）と各環境計量証明事業所団体（県単組織など）との間で締結されるケースが増えつつあります。こうした動きをまとめたものを添付資料2に示しましたが、既に全国で17件の協定が締結されています。そこで、当協議会でも昨年より東京都環境局と災害支援に関する意見交換を行い、これに基づいて今年4月には会員の皆様に対して「災害時における石綿モニタリング調査に関する支援協定」に伴う指定機関ネットワークへの加入申込のご案内をさせて頂きました（添付資料1）。その結果、下記17社より指定機関ネットワーク加入の申込みを頂きました。今回、申込みを頂きました会員様には深く御礼申し上げます。

現在、東京都環境局内では協定締結に向けての稟議中ですが、順調であれば8月下旬までには認可が下りる運びです。予定通り認可され協定を締結した際には、指定機関ネットワークに加入頂いている会員様にはその旨通知させて頂きますと共に、別途、今後の活動方法や緊急連絡網等についてご案内させて頂きます。

なお、本事業は、随時申込みを受付けておりますので、この機会に新たに加入希望の会員様がおられましたら当協議会事務局までご一報ください。実際の被災現場においてアスベスト分析用のサンプリングのみ可能な会員様でも大歓迎ですので、ご検討のほど宜しくお願いいたします。

災害時石綿調査の指定機関ネットワーク申込社一覧（50音順）

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ・ いであ(株) | ・ (株)伊藤公害調査研究所 |
| ・ (株)オオスミ | ・ (株)環境管理センター |
| ・ (株)環境技研 | ・ (株)環境技術研究所 |
| ・ (株)環境総合リサーチ | ・ 環境リサーチ(株) |
| ・ (株)総合水研究所 | ・ 帝人エコ・サイエンス(株) |
| ・ (一財)東海技術センター | ・ (株)東京環境測定センター |
| ・ (株)日新環境調査センター | ・ (株)日本総合科学 |
| ・ ヒロエンジニアリング(株) | ・ (株)分析センター |
| ・ ユーロフィン日本環境(株) | |

会 員 各 位

2020 年 4 月 吉日
東京都環境計量協議会
会 長 佐藤 隆

「災害時における石綿モニタリング調査に関する支援協定」に伴う
指定機関ネットワークへの加入申込募集案内

国土交通省の推計によりますと、1956 年～2006 年までに施工された吹き付けアスベストを含む鉄骨造・鉄筋コンクリート造の民間建築物は、未だ 10 万棟あまり存在するとされ、その建築物の老朽化による解体工事は 2028 年頃がピークと言われております。そのため総務省では、2017 年 5 月に環境省・厚生労働省・国土交通省および総務省に対して、建築物解体時や災害時におけるアスベスト飛散・暴露防止対策に対する改善措置を勧告しました。環境省では、同勧告を受けて 2018 年 9 月に「災害時における石綿飛散防止に係る取扱マニュアル」を改訂しました。しかしながら、大規模災害が発生した場合には被災自治体は人命救助や避難所対応に追われ、アスベストの飛散状況の把握や具体的な防止措置を十分に行うことが出来ない恐れがあります。そのため、近年では各自治体（県・市）と各環境計量証明事業所団体（県単組織）の間で「災害時における石綿モニタリング調査に関する「支援協定」や「災害時における化学物質や放射性物質等の調査に関する支援協定」を締結する事例が増えております（詳細は添付資料をご参照下さい。）。こうした背景により、東京都環境局と当協議会執行部におきましても昨年来から協議を重ねて参りました結果、この度「災害時における石綿モニタリング調査に関する支援協定」を締結する運びとなりました。

つきましては、当会員企業の中で「大気中・建材中のアスベスト分析」について、受託可能な会員によります指定機関ネットワークを構築して、東京都より災害支援要請が発令された場合に「適正価格」をもって石綿モニタリング調査を迅速に対応できる体制を構築する事と致しました。是非、1 社でも多くの会員に加入頂きまして強固なネットワークを構築し、災害発生時における復旧活動に当協議会として尽力致す所存です。まずは、本事業にご参画頂ける会員を募集させていただきます。なお、実際の災害支援要請に関する契約では当協議会は介入せず、「東京都とモニタリング実施者との契約」となります事を付記します。

以下に、本協定に関する書類案を添付させていただきますので、各社共、指定機関への登録をご検討頂き、何卒加入の申込をお願い申し上げます。

以 上

東京都環境計量協議会
災害時における石綿モニタリング調査機関
ネットワーク申込書

2020 年 月 日

東京都環境計量協議会
役 員 会 御 中

貴会の目的及び事業に賛同し、災害時における石綿モニタリング調査の協力認定機関として、申し込み致します。

フリガナ 社名・団体名		
フリガナ 代表者名	⑩	
当会に登録する拠点施設 (本社と異なる場合は記入)	施設名称：	
	住所：〒	
	TEL	FAX
連絡担当者	所属部署・役職	
	氏名	
	e-mail：	
アスベスト分析		対応できる（○、×）
試料採取	大気環境	
	建 材	
測定分析	気 中	
	建 材	

全国における自治体と県単の災害時協定の締結状況

表1 環境計量証明事業団体の災害時協定の状況（平成31年2月 埼環協作成）

協定団体（環境計量証明事業団体）	協定名	協定先	協定日	対象	費用負担
横浜市環境技術協議会	災害時における有害化学物質調査の協力に関する協定	横浜市	H11.8.31	有害化学物質	実費（協議）
一社）神奈川県環境計量協議会	災害時における有害化学物質調査の協力に関する協定	横浜市	H11.9	有害化学物質	実費（協議）
	災害時における有害化学物質調査の協力に関する協定	神奈川県	H29.10	有害化学物質	実費（適正価格）
	大規模災害時における有害化学物質等の調査に関する協定	川崎市	H30.8.31	有害化学物質	実費（適正価格）
一社）埼玉県環境計量協議会	水質検査に関する協定書	埼玉県企業局	H24.12.26	水道水源水質	実費（建設物価、割増設定）
	災害時における石綿モニタリングに関する合意	埼玉県	H30.11.6	石綿	実費（建設物価）
一社）愛知県環境測定分析協会	災害時における化学物質等の調査に関する協定書	愛知県	H23.3.18	化学物質等	実費（適正価格）
	災害時における環境安全の調査等に関する協定書	豊橋市	H26.2.12	化学物質等 防災井戸	実費（適正価格）
	災害時における環境調査に関する協定	豊田市	H28.5.30	化学物質等	実費（適正価格）
	災害時における化学物質等の調査に関する協定	岡崎市	H30.4.16	化学物質等	実費（適正価格）
一社）群馬県計量協会環境分科会	災害時等における緊急分析の協力に関する協定	群馬県下水道総合事務所	H29.9.27	水質分析等	実費（明記なし）
一社）福島県環境測定・放射能計測協会	災害時における環境安全の調査等に関する協定書	福島県	H27.5.13	化学物質、 放射性物質	実費（適正価格）
一社）山形県計量協会	災害時における環境調査に関する協定	山形県	H27.6	化学物質等	実費（適正価格）
	災害時における環境調査に関する協定	山形市	H30.7.26	化学物質等	実費（適正価格）
長野県環境測定分析協会	災害時における被災建築物のアスベスト調査に関する協定	長野県	H30.9.18	石綿露出状況や含有量	実費（人件費、機器費を除く）
堺市環境計量協議会	災害時におけるアスベストの調査に関する協定	大阪府堺市	H30.8.31	石綿	実費（適正価格）
静岡県計量協会環境計量証明部会中部支部	災害時における化学物質調査に関する協定	静岡市	H23.2.4	化学物質等	実費（適正価格）

新役員の挨拶

2020年度の総会において、2名の新役員が承認されました。新たな役員は以下のとおりです。

- ・理 事 : 福浦 勝 環境リサーチ株式会社
- ・監 事 : 近野 良哉 いであ株式会社

新しく役員になりました各氏に、今後の抱負を含めご挨拶をいただきました。

福浦 勝 理事 [環境リサーチ(株)]



第43回通常総会で新たに理事に選任されました環境リサーチ株式会社の福浦 勝でございます。前期まで当社から福田が理事を務めさせていただいておりましたが、その後任として就任させていただきます。

今年は新型コロナウイルスの影響で、行事、イベントなど人が集まる活動は一定の制約を受けざるを得ませんが、そのような中でもできることを一つずつ積み上げていきたいと思っております。

微力ではありますが、東京都環境計量協議会の発展と役員・会員、および関係者の皆さまのお役に立てるよう精一杯努めさせていただきます。ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

近野 良哉 監事 [いであ(株)]



この度、第43回通常総会にて新しく役員に選任されました、いであ株式会社の近野良哉でございます。池田善郎監事の後任として、初めて東京都環境計量協議会の役員を務めさせていただきます。まだ、わからないことが多く、皆様の御迷惑にならないよう努力してまいります。

コロナ禍の中ではありますが、共に手を取り、環境計量業界を盛り上げていきたいと思っております。

微力ながら東京都環境計量協議会の発展と会員の皆様のお役に立てるよう精一杯尽力させていただきますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

役員の役割分担

2020 年度は、下記のような役員の役割分担で事業を進めて参ります。

	佐藤	竹田	五十嵐	川東	田口	平賀	志知	池田	石山	木村	福浦	中村	近野
役員会議事録				○			◎	○			○		○
ホームページ管理			○			○	○	◎					○
資料作成管理		○	○										
会員名簿管理		◎											
首都圏連絡委員会	◎	○				○				○			○
東環協ニュース			○	◎				○	○				○
官庁関係挨拶等	◎	○	○										
新任者教育セミナー	○	◎	○					○				○	○
研修見学会				○	○				○	◎	○		
大環協事例発表会	◎		○							○			
技術研修会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事例発表会	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
都民計量のひろば		○			○	○	○		◎		○	○	○
懇親会(ゴルフ、その他)					◎				○			○	
新春懇親会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総会	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
会計監査	○	○	○									◎	○
石綿モニタリング	○		○		○	◎	○				○		○
役員会招集	○	◎	○										
事務局		◎											

◎ 主担当 ○ 担当

委員会	笹嶋	安藤
業務委員会	○	
技術委員会		○

関係機関・団体の動き

2020 年 8 月現在で、既に実施または今後予定されている関係機関及び団体の動きは、以下のとおりです。

○ 首都圏環境計量協議会連絡会

- | | | |
|------------|----------|--------------------|
| ・ 第 1 回委員会 | 6 月 12 日 | (株)分析センター及び WEB 会議 |
| ・ 第 2 回委員会 | 8 月 27 日 | WEB 会議 |
| ・ 研修見学会 | 中止 | |

○ (一社) 神奈川県環境計量協議会

- | | | |
|--------------------------|----------|----------------|
| ・ 通常総会 | 5 月 29 日 | かながわ労働プラザ 書面決議 |
| ・ 第 2 回理事会 | 6 月 9 日 | WEB 会議 |
| ・ 今後の行事については、全て未定との事である。 | | |

○ (一社) 埼玉県環境計量協議会

- | | | |
|--------------------------|----------|------------------|
| ・ 通常総会 | 5 月 22 日 | ラフレさいたま (規模縮小開催) |
| ・ 今後の行事については、全て未定との事である。 | | |

○ 千葉県環境計量協会

- | | | |
|--------------------------|----------|--------------|
| ・ 通常総会 | 5 月 13 日 | 総会は中止して委任状決議 |
| ・ 今後の行事については、全て未定との事である。 | | |

○ (一社) 日本環境測定分析協会

- | | | |
|-------------------------------|----------|---|
| ・ 通常社員総会 | 5 月 20 日 | 三役員、専務理事及び議事録署名人のみ本部出席。
一般社員は WEB 会議により参加。 |
| ・ 経営セミナー全国大会in札幌(9 月) 中止 | | |
| ・ 環境セミナー全国大会in広島(10 月) 来年度に延期 | | |

東環協からのお知らせ

○2020 年度これからの主要行事予定

- | | |
|-----------------------|------------------------------|
| ・ 研修見学会 | 中止 |
| ・ 2020 年度第 2 回親睦ゴルフ大会 | 中止 |
| ・ 都民計量のひろば | 11 月 1 日(日)～30 日(月) WEB形式で開催 |
| ・ 環境測定技術事例発表会 | 中止 |
| ・ 技術研修会 | 未定 |
| ・ 賀詞交歓会 | 未定 |
| ・ 新任者教育セミナー | 2021 年 2～3 月頃を予定（東環協による単独開催） |

※ 新型コロナウイルス感染症の流行状況によっては、
中止またはWEB方式での開催となります。

○ 事務局からのお知らせ

- ・ 会員の動き(前々号の第 172 号(12 月 27 日発行)以降の会員動向を掲載)

入会された会員

① 会員区分：正会員

会 員 名：成友興業株式会社

代 表 者：代表取締役 細沼 順人

連絡担当者：環境エンジニアリンググループ 富田 潤一

TEL:03-3799-8111 , FAX:03-3799-7788

② 会員区分：賛助会員

会 員 名：株式会社デイラボ

代 表 者：代表取締役社長 渡邊 龍一

連絡担当者：管理課課長 原田 清志

TEL:03-3684-6110 , FAX:03-3684-6111

現在の会員数 (2020年 8月現在)

正 会 員 61社

賛助会員 23社 合 計 84社

○ 編集後記

「東環協ニュース」第 174 号が無事に完成しましたので皆様にお届けいたします。
今回は、書面による議決権行使方式で開催した「第 43 回通常総会」を中心に編集しました。また、「今年度の事業活動について」ご報告すると共に、当協議会と東京都で締結を進めている「災害時における石綿モニタリング調査」の紹介をさせていただきました。例年であれば「新任者教育セミナー」の記事も掲載するところですが、今年度の同セミナーは新型コロナウイルス感染拡大により開催が未定となっております。

今後も会員の皆様に興味を持って頂ける企画・運営を心掛けて参りますのでご支援の程、宜しくお願い申し上げます。



ORGANO Ultrapure Water Technology



ディスペンサーデザインを一新し、操作性・採水機能を強化！

超純水装置 ピューリック FP- 純水装置 ピュアライト PR-

アルファ



好評の α シリーズがリニューアル。

操作性・採水性を追求したデザインで使いやすさが向上しました。

更に進化した α をぜひ体感下さい。



高い操作性

- 採水アームは手前、上下、左右と可動域を拡大
- 採水部先端の角度を調節することで、容器を置いたまま超純水を泡立てることなく採水可能
- 実験用手袋をつけたまま操作ができる高性能タッチパネル

優れた採水性

- オルガノ独自の校正方法により定量採水の補正機能が向上
- 滴下、定量、連続、フットスイッチ4種の採水機能を装備
- 1滴から最大2L/minまでの流量を手元のダイヤルで設定

多彩な選択性

- 最終フィルター、UVなど要求水質に合わせた装置選択が可能
- 純水タンク容量は4種類、オプションでUVを搭載することでタンク内の菌を抑制
- 採水ディスペンサーは最大3か所に設置可能、採水口に菌対策用UVを搭載可能

お問い合わせ先：株式会社東京科研 機器営業部 関根 TEL03-5688-7401 / FAX03-3831-9829

PURE WATER SINCE 1946

オルガノ株式会社

オルガノ

検索 click!

〒136-8631 東京都江東区新砂1-2-8 Tel:03-5635-5193
<https://www.organo.co.jp/products/>



オルガノは
Water Project に
賛同しています

人と技術と環境の調和

Harmony among People, Technology, and Environment

高圧ガス工業グループ

安全

アセチレンガスのトップ
メーカーとして無事故の
実績を水平展開する事
によりガスの安全を追及

技術

安心

事業継続計画(BCP)による
高圧ガス工業グループの
ガス充填工場5ヶ所
(首都圏)より安定した
ガス供給体制

サービス

高圧ガス工業グループ
33カ所(首都圏)体制に
よるフットワーク

JCSS標準ガス

キャリアガス

非接触型LSIカード

容器管理システム

ネットワークであらゆる
ニーズにお応えします

特殊塗料

衝撃吸収シート

瞬間接着剤

設計・製作・工事



高圧ガス工業株式会社

本社
東京事務所

大阪府大阪市北区中崎西2丁目4番12号 梅田センタービル28階
東京都千代田区内幸町1丁目2番1号 日土地内幸町ビル9階
ホームページ <http://www.koatsugas.co.jp>

TEL: 06-7711-2570 (代)
TEL: 03-3595-3128 (代)

高速イオンクロマトグラフ

IC-8100



ION CHROMATOGRAPH

IC-8100

先進のセパレーションテクノロジーを継承、
さらに進化したニューコンセプトIC…
ますますの快適さと信頼性をお届けします。

高速多検体

測定時間5分のハイスループット分析を実現

高速分離カラムとの組み合わせで、陰イオン・陽イオンの測定がそれぞれ5分で終了。
検体の測定時間を大幅に短縮できます。

測定時間10分で臭素酸を含む水道水質基準項目の分析を実現

水道水質分析用の高速高分離カラムと、高感度ポストカラム反応システムを用いる事で、
臭素酸を含む水道水質基準項目が10分以内で測定できます。
従来、複数の条件で行なわれていた分析を一度の測定で行うことが可能です。

高感度

自動交換型ゲルサプレッサー方式で高感度分析が可能

サプレッサーロータリーバルブとサプレッサーゲルを組み合わせた、自動交換型ゲルサプレッサー方式の採用により
安定した高感度連続自動分析が可能です。

高機能 拡張性

自動希釈機能付きのオートサンプラーを標準搭載 (IC-8100EX)

高濃度イオン含有サンプルなどに対して希釈と注入を連続して行うことができます。

IC-8100シリーズ専用紫外可視吸光光度検出器

フローセルの最適化及び温度変化を最小限に抑えた流路設計により、低ノイズ、低ドリフトのベースラインを実現しています。
当社従来器に比べて感度がおおよそ5倍向上しています(亜硝酸イオンのS/Nより算出)。

IC-8100EX専用自動溶離液供給ユニット

新規開発した調製機構により安定的に溶離液を調製し、装置へ供給します。
濃縮溶離液と純水をセットするだけで分析が可能となります。
常に安定した組成の溶離液が供給されるため、経時変化による溶出時間の変動などがなく安定した分析が可能です。

IC-8100シリーズ専用ポストカラム反応システム

イオンクロマトグラフIC-8100EXと紫外可視吸光光度検出器UV-8100との組み合わせにより
水道水質検査法に準拠した臭素酸やシアン等の高感度分析を実現します。



東ソー株式会社
バイオサイエンス事業部

東京 本社 営業部 ☎(03)5427-5180 〒105-8623 東京都港区芝3-8-2
大阪 支店 バイオサイエンスG ☎(06)6209-1948 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4-4-9
名古屋 支店 バイオサイエンスG ☎(052)211-5730 〒460-0008 名古屋市中区栄1-2-7
福岡 支店 ☎(092)781-0481 〒810-0001 福岡市中央区天神1-13-2
仙台 支店 ☎(022)266-2341 〒980-0014 仙台市青葉区本町1-11-1
カスタマーサポートセンター ☎(0467)76-5384 〒252-1123 神奈川県綾瀬市早川2743-1
バイオサイエンス事業部ホームページ <https://www.separations.asia.tosohbioscience.com/>

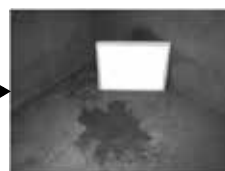
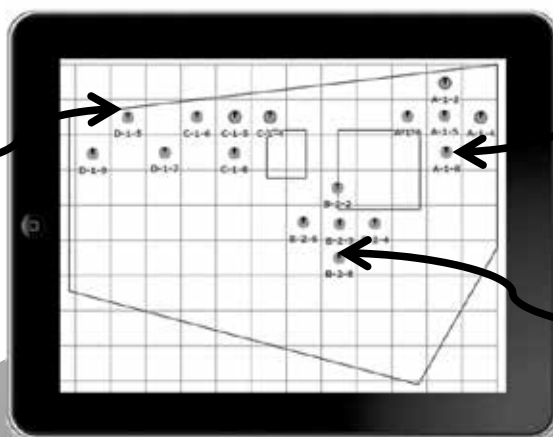
写真整理や帳票作成の手間を軽減します！ pictum (ピクタム)

帝人エコ・サイエンス株式会社監修

製品の特長



ボーリングバー
削孔状況



施工後

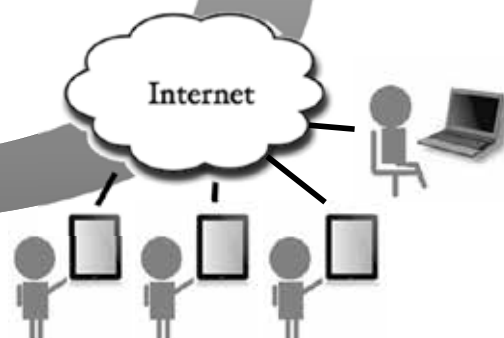


検尺

写真整理！



簡単帳票作成！



データ共有！

タブレットを現場で活用すると…？？？

- ✓ 地歴調査の現地踏査写真整理業務、工数80%削減！
- ✓ 土壌汚染状況調査の写真整理業務、工数50%削減！
- ✓ 現場管理者が調査進捗状況をリアルタイムに確認可能！
- ✓ 作業員が試料採取済み箇所を瞬時に把握！

pictum

検索

■ 製品のお問い合わせ

日本コントロールシステム株式会社
<http://www.nippon-control-system.co.jp/>

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-20-18 三富ビル新館5F
TEL : 03-3443-5081 (ピクタム担当)
MAIL : pictum@nippon-control-system.co.jp

ビーエルテックの自動化学分析装置



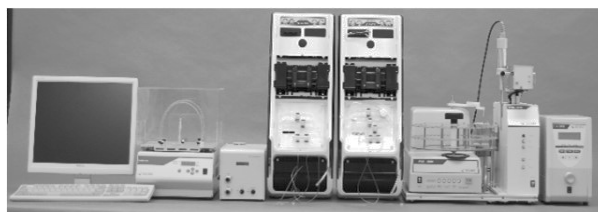
新型オートアナライザー「SYNCA」

ふっ素 シアン フェノール類 全窒素 全りん

- 1 新開発の光学系により測定レンジが広がりました。
- 2 ディテクターの向上(24ビット)によりデータ量が多く取り出すことができます。
- 3 ふっ素、シアン、フェノール類の蒸留、発色操作も自動で行えます。
- 4 全窒素全りんのオートクレーブ分解、発色操作も自動で行えます。
- 5 自動洗浄装置装着時、自動プラテンリリースできます。
- 6 国内生産です。
- 7 JISK0102対応メソッドです。1時間20検体測定ができます。
- 8 原理は、気泡分節型連続流れ分析法(**CFA**)で計量証明機関で多くの実績があります。



SYNCA - ふっ素シアン



SYNCA - 全窒素全りん

2019年3月20日に
流れ分析水質試験方法(JISK0170)
、工場排水試験法(JISK0102)、環告
の改正がありました。

全シアンは、告示59号の付表1で
蒸留から発色まで公定法となりました。

JIK0102	項目名	JIK0102	項目名
28.1.3	フェノール類	43.1.3 43.2.6	亜硝酸イオン 硝酸イオン
30.1.4	陰イオン界面活性剤	45.6	全窒素
34.4	ふっ素化合物	46.1.4 46.3.4	りん化合物 全りん
38.5	シアン化合物	65.2.6	クロム(VI)
42.6	アンモニウムイオン		

全自動酸化分解前処理装置 DEENA

特長

1. 試薬を自動で導入できます。
2. 自動で加熱をします。
3. 内部標準も入れられます(オプション)
4. メスアップも自動で行います。



DEENA60

(50mlバイアル 60本掛け)



DEENAm

(50mlバイアル 30本掛け)



ビーエルテック株式会社 <http://www.bl-tec.co.jp>

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-25-7 江戸堀ヤタニビル2F

TEL:06-6445-2332 FAX:06-6445-2437

東京本社 〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビル4F

TEL:03-5847-0252 FAX:03-5847-0255

九州支店 〒811-3311 福津市宮司浜1-16-10-101

TEL:0940-52-7770 ※FAXは本社へ

MIKAMI

MIKAMI Co., Ltd.

「皆様の分析、研究の手足となります」

試薬・理化学機材総合商社ミカミの武器は

機動力とスピードです

創業 70 年の実績と知恵をぜひ一度お試しください

- ① ネットでも難しいもの、探して届けます
- ② 御見積回答翌日までに致します
- ③ 試薬、理化学商材、世界の検索網にかけます

営 業 内 容

試薬・医薬品・動物薬品・理化学機器・修理・中古機器

 関東化学株式会社
KANTO KAGAKU

 TGK STATION

 Ken's ケニス株式会社
 MERCK

 SANSYO

 AS ONE
心をひとつに明日を拓く
アスワン



研究室の総合プランナー
株 式 会 社 ミ カ ミ

〒131-0032 東京都墨田区東向島5-4-12

TEL: 03-3610-0331 FAX: 03-3610-0334

E-Mail: info@kkmikami.co.jp

HP: <http://www.kkmikami.co.jp>

測定精度の向上
人的エラーの解消
前処理時間の短縮
自動化、省力化・・・

全て解決！

メトローム イオンクロマトグラフ



930 IC 本体

+



858 サンプルプロセッサ
+ 800 ドジーノ (電動ビュレット)

+



ろ過デバイス
限外ろ過



透析デバイス
ダイアリシス



中和・除去デバイス
中和 / 金属除去



濃縮・除去デバイス
濃縮 / カラムスイッチング
/ マトリックス除去



940 IC 本体



942 拡張モジュール

メトローム 自動前処理システム Metrohm Inline Sample Preparation (MISP) は、手作業でおこなっていたイオンクロマトグラフのサンプル前処理を完全自動化できます。

MISP は、メトローム開発したイオン分析のための自動前処理手法です。マトリックスの除去、濃縮、希釈、pH 調整、中和等の作業と時間のかかる作業を完全自動化します。前処理工程を改善するとともに、分析精度の向上にも有効です。

イオンクロマトグラフィの原理からトラブルまでご隠居さん達が楽しく解説する大人気コラム「ご隠居達のIC 四方山話(よもやまばなし)」。ウェブサイトに掲載中！

IC 四方山話



デモやサンプルテストもお気軽にお問い合わせください。
e-mail での問い合わせ: metrohm.jp@metrohm.jp

本社 〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 30-1 タマビル日本橋箱崎 8 階 TEL: 03-5642-6146 (T1部) FAX: 03-5642-6142
大阪支店 〒541-0047 大阪府大阪市中央区淡路町 3-1-9 淡路町ダイビル 5 階 502C TEL: 06-6232-2311 FAX: 06-6232-2312
URL <https://www.metrohm.com/ja-jp/>

水銀規制に関する対応はできていますか？

サステナビリティに貢献

超純水・純水製造装置

Milli-Q IQ 7003/05/10/15

純水製造装置

Milli-Q IX 7003/05/10/15

水銀フリーUVランプ



- 水銀に関する規制に対応
- 19%の施設（民間企業・大学・公的研究機関）では水銀を含む製品は購入できず、47%の施設では水銀を含まない製品を選ぶようにする対応が取られています。

最大30%省エネ

- 最大30%のエネルギー削減* (Milli-Q IX 7003/05/10/15)
（製品ライフサイクル全体で500 kWh以上）

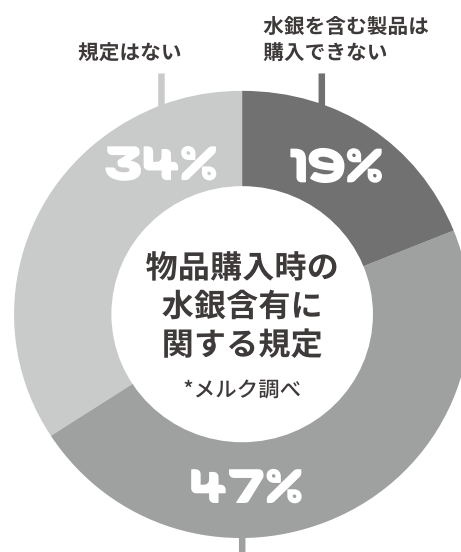
使用水量削減

- RO膜洗浄水量を80%削減*
- RO排水リサイクルにより、使用水量の大幅削減

化学物質の使用・廃棄ゼロ

- イオン交換樹脂再生のための危険な化学薬品による再生と廃棄物を排除。Elix® EDIテクノロジーは、微弱な電気によりイオン交換樹脂を再生。

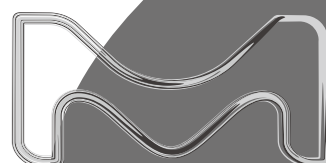
*前モデルElixとの比較



水銀を含まない製品をなるべく選ぶようにする必要がある

メルク株式会社

ライフサイエンス ラボウォーター事業部
〒153-8927 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー 5F
製品の最新情報はこちら www.merckmillipore.com/LW
On-Line: www.merckmillipore.jp/jpts
Tel: 03-4531-3939 Fax: 03-5434-4875



The life science business
of Merck operates as
MilliporeSigma in the
U.S. and Canada.

Milli-Q®
Lab Water Solutions